

公開授業だより

平成29年2月9日（木） NO. 6

～アクティブラーニングを取り入れての授業改善～

本日のK先生の研究授業（授業公開）は、19名の先生方にご見学いただきました。授業はK先生の講義による一斉授業の形で始まりましたが、既習事項の要所要所にグループワークを何度も取り入れながら、終始明るい活発な意見のやり取りが展開されました。席に座ったままで「聞く、読み取る、話す、書く」の活動を巧く取り入れた。

科目 「子どもの発達と保育1」 担当 K 先生
日時 2月9日（木）4限 教室：生活実習室
単元 ～ 住まいと子どもの危険 ～

■授業の形態 グループワークを中心とした、参加型の授業

■授業のテーマ

からだの動きが活発な、乳幼児期の子どもに関わる
保育者の立場から考えられる家庭内事故の原因と、
それを防止する方法について考察し、発表させる。

■授業の進め方

- ①教科書やプリントから「情報を得る」（一斉学習）
→ 子どもの家庭内事故による死亡数が多いことを確認する
- ②資料をもとに「考える」（個別学習）
→ 一般的な家庭の室内のイラストから、子どもにとって危険な箇所を見つける
- ③意見を共有し、「考えを深める」
→ 3～4人のグループに分かれ、見つけた箇所を確認し合う（グループ学習）
- ④意見を発表し、クラス全員で「共通理解をする」（一斉学習）
→ グループで出し合った危険な箇所を、危険だと思った理由とともに発表する
- ⑤発表された内容から、考えられることを記入し、「振り返る」（個別学習）
→ 危険な箇所をなくすにはどうしたら良いか、プリントに記入する

以上を、単元の主要項目ごとに活動時間を決めておこなった



<授業者より>

「生徒全員の参加」、「保育者の目線での考察」を大前提に授業を展開しています。今回の授業では導入時の細部へのこだわりがふくらむ、まとめが十分ではありませんでした。活動的に取り組むことのできる生徒が多く私自身が楽しみながら授業をすすめることが出来ました。授業の構成や指示の出し方など、まだまだ検討しなければならない点が多くあります。今後も生徒にとって学びの多い授業ができるよう、いただいた多くのご意見を参考に取り組んでいきます。

<見学者の感想より>

授業全体 聞く・考える・話し合うのメリハリがかった授業



- ・20数名という生徒数を活かし、多様な意見を吸い上げる形で良かった。
- ・プリントが見やすく、生徒の視覚に訴え、且つ考えやすい教材であった。
- ・グループ協議の内容を付箋に書き貼る。ALでよくつかう簡単な手法で、生徒が楽しそうであった。
- ・和やかな雰囲気、少数派の男子生徒も安心して授業を受けていた。
- ・考察をメインに置き、全体の流れを意識した授業であった。
- ・一人ずつの発言や、グループで付箋を使った発表など、学習活動の変化があり、随所に工夫が見られた。

生徒の学習活動 生徒が活発に意見を出し、ひとの発表に対してよく反応した。

- ・授業の展開としては、導入部分がやや重かった。50分間丸ごと生徒に考えさせて、班ごとにまとめる形もよかったかも知れない。
- ・保育分野の「家庭内事故」は生徒同士の意識の共有が非常に難しい。何を危険と感じるかは人により違うので、全員の意見を集約しながら授業を進めたのは良い方法であった。
- ・生徒が意欲的にいきいきと積極的に活動していました。これは、普段からの指導の賜物だ。
- ・私の授業中には、あまりこのような姿は見らない。参考になり、反省もした。
- ・生徒の雰囲気がよく、発言や活動も活発に行われ、いい授業展開だった。自分も始めから最後まで授業を受ながら、とても分かりやすく、頑張ったが、高校生の柔軟な頭には勝てなかった。
- ・昨年担任をした生徒たちがしっかりと授業に取り組んでいる姿がうれしかったです。



教師の動き 生徒とコミュニケーションを取りながら、しっかりと授業が進行できた。

- ・初任2年目にして、落ち着いて授業をされていた。
- ・去年の叶先生の研究授業と比較すると、とても落ち着いた授業であった。

改善できる部分 板書しながら、話しながらは生徒にとっては理解しにくい

- ・板書をしながら生徒に話をしているので、「教師の話聞くときは生徒に聞かせる」「板書の内容を書かせるときは書かせる」と区別したほうが生徒にとって理解しやすいのではないかと。
- ・考える時間をもっと多く取るために、前半の時間配分をもっと工夫すべき。
- ・板書事項、付箋の配置をもう少し整理すべき。
- ・付箋の整理内容を記載しない生徒がいた。書き込みの指示を具体的に強調したほうが良い。

教員2年目のK先生の成長が目覚ましいという感想が多数寄せられました。ベテランが大量退職する時代に入りましたが、叶先生のような若手教員の成長は、多くの先輩先生の喜びです。

50分という短い時間で多くの内容を効率よく学ばせるには、今日の授業のように流れるような展開が大変有効です。聞く、読み取る、話す、書くなどの要素をきちんと整理し、リズム感のある展開で生徒の学びを保障する、アクティブラーニングを無理なく取り入れた見本のような授業でした。(教頭)